DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

I·O DATA

B-MANU200642-02

DVR-AN18GS

この度は、「DVR-AN18GS」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に［本書］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境の確認

項目	内容		
対応機種※1	本製品が取付可能なドライブベイ（5インチベイ）とIDEインターフェイス※2を搭載したDOS/Vマシン		
対応OS※3	Windows Vista™※4/Windows XP Service Pack 2/Windows 2000 Professional Service Pack 4以降		
搭載CPU※3	●データ保存時：Pentium III 450MHz以上　●ビデオ編集・DVD鑑賞時：Pentium 4 1.6GHz以上		
メモリ	512Mバイト以上		
ハードディスク※3	空き容量 10Gバイト以上（20Gバイト以上推奨）		
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度		
インターネット※5	CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。		
対応メディア※6	●DVD：DVD+R※7、※8、DVD+RW、DVD-R※8、※9、DVD-RW、DVD-RAM※10、DVD-ROM ●C　D：CD-R、CD-RW、CD-ROM		
推奨メディア※11	メディア	メディアの速度	メーカー名
	1層DVD+R	16倍速（最大18倍速書き込み※14）	太陽誘電
		16倍速	日立マクセル、三菱化学
		8倍速（最大16倍速書き込み※14）	太陽誘電
		8倍速	ソニー、日立マクセル
	2層DVD+R	8倍速	三菱化学
		2.4倍速（最大4倍速書き込み※14）	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
		4倍速	三菱化学、リコー
	1層DVD-R※12	16倍速（最大18倍速書き込み※14）	太陽誘電、三菱化学
		16倍速	日立マクセル
		8倍速（最大16倍速書き込み※14）	日立マクセル
		8倍速	ソニー、太陽誘電、三菱化学
	2層DVD-R	8倍速	三菱化学
		4倍速	三菱化学
	DVD-RW※12	6倍速	三菱化学
		4倍速	TDK、ビクター、三菱化学
	DVD-RAM※13	12倍速	日立マクセル
		5倍速	Panasonic、日立マクセル
		3倍速	Panasonic、日立マクセル
	CD-R	三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 Ultra ATA/66 以上対応の IDE ケーブルをお使いください。

※3 DVD メディアへ 12 倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.8GHz 以上
●ハードディスク：Ultra ATA/66 以上で接続されたハードディスク（DMA 転送モード）
●OS：Windows XP ServicePack 2 以降
●チップセット：i915 以降

※4 32bit のみ対応。

※5 Windows Vista™環境で CPRM 技術で録画された DVD メディアを再生する場合は、以下を満たしている必要があります。
●グラフィックアクセラレータボード
・PCI-Express 接続
・COPP をサポートしていること
・最新のドライバがインストールされていること
・HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載
●ディスプレイ
・HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載

※6 ●書き込みは 12cm メディアのみ対応しております。
●DVD・CD への書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※7 2 層 DVD+R メディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※8 2 層 DVD±R メディアに「B's CLiP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※9 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※10 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE I）および 2.6G バイト / 面のメディアには対応しておりません。

※11 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※12 「B's Recorder GOLD 9 BASIC」にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。

※13 2 倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※14 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

ご注意
●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
●左記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。またWindows Vista™でご利用の際にはより高性能な環境を推奨いたします。

製品仕様

項目	内容
OEM供給元	ソニーNECオプティアーク株式会社
インターフェイス仕様	ATAPI(Ultra DMA Mode 4)
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載
適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM、DVD-Video ●C　D：CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2（form1、form2）、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD
平均アクセスタイム	●DVD-ROM：160ms　●DVD-RAM：210ms ●CD-ROM：140ms
書き込み方法	●DVD+R/+RW：Disc at Once、Random Write、Sequential write ●DVD-R/-RW：Disc at Once、Incremental、Multi-Border、Restricted Overwrite※ ●DVD-RAM　：Random Write、Sequential Write ●CD-R/RW　：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing ※DVD-RWのみ
アナログライン出力	0.75Vrms
電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	146(W)×170(D)×41.3(H)mm（フロントベゼル含まず）
質量	約700g（本体のみ）

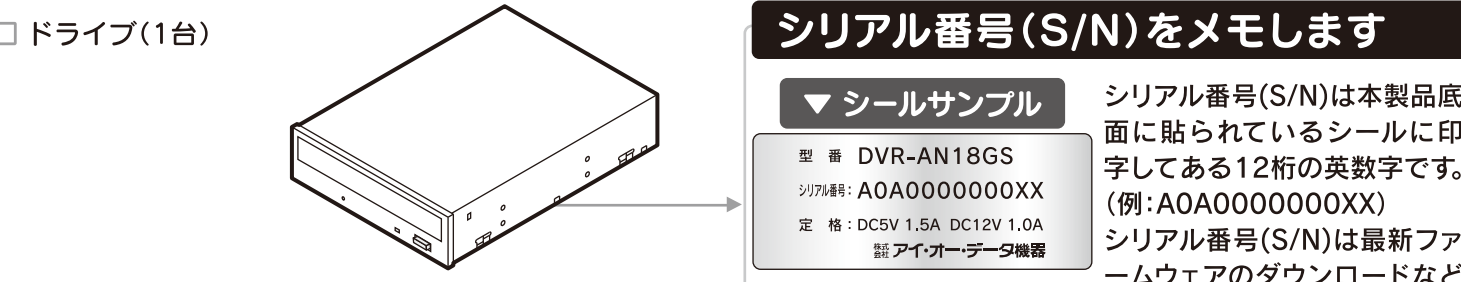
最大書き込み/読み込み速度

DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層-R	2層-R	-RW	RAM	ROM
書き込み	×18	×8	×8	×18	×8	×6	×12	-
読み込み	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12	×16(1層) ×12(2層)

C　D	-R	-RW	ROM
書き込み	×48	×32	-
読み込み	×48	×40	×48

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

- □ ドライブ（1台）
- ☑ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド（本書/1枚）
- □ DVD Proツールズコレクション（CD-ROM/1枚）
- □ UleadソフトウェアCD（CD-ROM/1枚）
- □ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）
- □ 取り付けネジ（4本）
- □ ハードウェア保証書（1枚）

ご注意　ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

シリアル番号(S/N)をメモします

▼シールサンプル

型　番　DVR-AN18GS
シリアル番号：A0A0000000XX
定　格：DC5V 1.5A DC12V 1.0A
株式会社アイ・オー・データ機器

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。（例：A0A0000000XX）
シリアル番号(S/N)は最新ファームウェアのダウンロードなどの際に必要な場合があります。

↓ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

最新ファームウェアのダウンロード
http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録
http://www.iodata.jp/regist/

以下はフロントベゼルを交換する際に使用します。フロントベゼルを交換する場合は本製品をパソコンに取り付ける前におこなってください。交換の手順については別紙「フロントベゼル交換ガイド」をご覧ください。

- □ フロントベゼル交換ガイド（1枚）
- □ 交換用フロントベゼル（1枚）
- □ 交換用トレイカバー（1枚）
- □ イジェクトピン（1本）

フロントベゼル交換ガイド
フロントベゼル
トレイカバー

ご注意　取り外したフロントベゼルおよびトレイカバーは大切に保管してください。紛失した場合の対応はいたしかねます。あらかじめご了承ください。

各部の名称

ドライブ前面

- **トレイ**
- **イジェクトボタン**：トレイの出し入れを行います。
- **緊急イジェクトホール**：メディアが取り出せなくなった場合に使用します。
- **アクセスランプ**：読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

ドライブ背面

使用しません。

- **電源コネクター**：パソコンの電源ケーブルを接続します。
- **IDEコネクター**：パソコンのIDEコネクターと接続するためのケーブルを接続します。
- **オーディオコネクター(アナログ)**：市販のオーディオケーブルを使用してパソコン本体のサウンドカードと接続します。機種や環境によっては使用しない場合があります。
- **スイッチ**：IDE機器の接続状況により設定を行います。

注意　アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

2.設定しよう

スイッチを設定します

手順.1

本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
IDEの基礎知識を参考に、取り付ける場所を決めます。

IDEの基礎知識

■ IDEの仕様について

パソコン本体には、以下の2つのコネクター（プライマリー/セカンダリー）があります。

- プライマリー(PRIMARY)　IDE1の場合があります。
- セカンダリー(SECONDARY)　IDE2の場合があります。

上記それぞれに、IDEフラットケーブル（以下参照）を使用して、下記の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

マスター(MASTER)　スレーブ(SLAVE)　マスター(MASTER)　スレーブ(SLAVE)

■ 接続例

一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクターに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。

「セカンダリー」に…
●2台接続する場合　どちらかを「マスター」もう一方を「スレーブ」
●本製品のみ接続する場合「マスター」

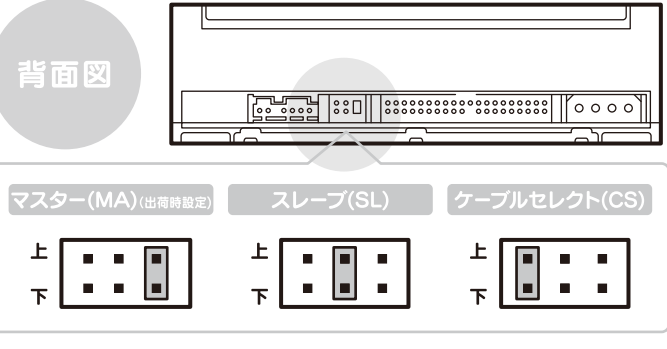
パソコン本体の標準のハードディスク「マスター」

「プライマリー」に接続する場合は、「スレーブ」

「セカンダリー」コネクター
「プライマリー」コネクター
IDEフラットケーブル

手順.2

手順.1で決めた取り付ける場所にあわせて、本製品背面のスイッチを『マスター』（出荷時設定）または、『スレーブ』のどちらかに設定します。ご使用環境にあった設定を行ってください。

背面図

3.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

手順.1

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

手順.2

パソコンのルーフカバー、ドライブベイ（5インチベイ）のカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、ドライブベイ（5インチベイ）のカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.3

各ケーブルを接続します。

① IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクターに接続します。プライマリー（1系列目）またはセカンダリー（2系列目）を充分確認し、接続してください。

② 電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクターに接続します。

ご注意
ケーブルを差し込むときはケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクターを破損する恐れがあります。コネクターを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクターをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

① IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクターの中央にある凸部が、IDEコネクターの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクターの1ピンの向きを合わせてください。）

② 電源ケーブル
電源ケーブルのコネクターの切り欠き部と、電源コネクターの切り欠き部が合うように挿入します。

手順.4

添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

手順.5

パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

♪ 本製品で音楽CDを聞く方法 ♪

デジタル再生する
本製品の画面で見るマニュアル内［ミニ知識］をご覧ください。

アナログ再生する
市販のオーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクターとサウンドボードの「CD IN」コネクターまたはパソコン本体のオーディオコネクターに接続してください。（オーディオケーブルはお使いのサウンドボードやパソコンのオーディオコネクターの形状に合ったものをご使用ください。）
すでにお使いのCD-ROMドライブと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、すでにお使いのCD-ROMドライブか本製品のどちらか一方の接続となります。

4.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

↑（画面例：Windows XP）

アイコンの追加を確認

Windows Vista™の場合
Windows 2000の場合
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

こんなときには

パソコンが起動しない場合

［2.設定しよう］を参照し、もう一度、本製品の「マスター」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合

●［表示］メニューの［最新の情報に変更］をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

注意事項

その他ご注意

- ●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
- ●本製品を使用する際には、Windowsの転送モードをDMAに設定してください。
- ●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- ●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。
- ●本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

裏面へお進みください。

てっトリ早く DVDを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

DVDビデオを作りたい	DVDを再生したい	データDVDを作りたい	ドラッグ&ドロップでデータを書き込みたい
DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA (Ulead)	▼Windows Vista™の場合 InterVideo WinDVD ▼Windows XP/2000の場合 InterVideo WinDVD 5 (InterVideo)	B's Recorder GOLD9 BASIC (B.H.A) ※1、※2	B's CLiP (B.H.A) ※1
DVDオーサリングソフト 既存の映像ファイルや DV カメラの映像を使って、DVD ビデオを作成する際に使用します。	**DVD再生ソフト** 市販の DVD や作成した DVD ビデオ、または家庭用 DVD レコーダーで録画された DVD±R/RW、DVD-RAM を再生することができます。	**データライティングソフト** 通常のデータ CD/DVD 作成に加えて、暗号化 CD/DVD を作成することもできます。	**パケットライトソフト** インストールすると、DVD-RAM/DVD±RW/CD-RW メディアにドラッグ＆ドロップでデータを書き込むことができます。
Uleadソフトウェア CDに収録	DVD Proツールズコレクションに収録	DVD Proツールズコレクションに収録	DVD Proツールズコレクションに収録

※1 他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
※2 DirectX 9がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD9 BASICのインストール時に DirectX 9が自動的にインストールされます。

添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

ソフト	内容
EasySaver LE (I-O DATA)	**データバックアップソフト：**あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。（本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。） ※ Windows Vista™非対応
AdobeReader (Adobe)	**PDF文書ファイル閲覧ソフト：** 各ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。 ※ Windows Vista™非対応
QuickDrive LE (I-O DATA)	**ドライブコントロールユーティリティ：** パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。（本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。）
画面で見るマニュアル for DVR-AN18GS (I-O DATA)	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。
※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。
「DVD Pro ツールズコレクション」の場合は次へ
2 メニューが表示されたら[インストールをする]をクリックします。 → 3 インストールしたいソフトをクリックします。 → 4 表示に従ってインストールを進めます。
「Uleadソフトウェア CD」の場合は 4 へ
5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

参考 シリアル番号/CD-Key
- ●B's Recorder GOLD9 BASIC :
- ●B's CLiP7 :
- ●WinDVD :
- ●WinDVD 5 for OEM :

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

注意 B's Recorder GOLD ＋ B's CLiPを使用する際のご注意

- ●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです。)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される"使用領域"では、OS の仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●2 層 DVD+R メディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- ●2 層 DVD±R メディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
- ●一度でも書き込みに失敗した DVD+R/-R/CD-R メディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗した DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RW メディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- ●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
- ●一度「B's CLiP」でフォーマットした DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RW メディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
- ●「B's Recorder GOLD」にてコピー禁止機能付き DVD を作成する場合には、本紙表面[推奨メディア]欄にてご案内しておりますメーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- ●B's Recorder GOLD のエラー回避機能のチェックを外さないでください。「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、"転送速度エラー回避機能"を ON にしてください。※エラー回避機能が常時 ON になっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
- ●他の CD/DVD ドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意 「B's Recorder GOLD」が対応していない CD/DVD ドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。※ ㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
- ●音楽データを書き込んだ CD-R/RW メディアを再生するには、再生する CD プレーヤーが CD-R/RW メディアに対応している必要があります。
- ●Windows 2000 でお使いの場合には、ドライブのデジタル CD 再生を無効にしてください。
- ●DVD±R/RW メディアに書き込む際、書き込み終了前に一度トレイが出し入れします。書き込み終了の画面が表示されるまではメディアを抜かないでください。手がはさまれる危険性があります。
- ●HDD バックアップ機能について (外付ドライブ製品のみ) バックアップしたメディアを使用して HDD を元に戻すときは、本製品以外の MS-DOS で認識可能な DVD/CD ドライブが必要です。

注意 DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA、WinDVD、WinDVD 5 OEMを使用する際のご注意

- ●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- ●CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生・編集するには、サービスパックやCPRM Packをダウンロードし、インストールする必要があります。 ※ インターネット接続環境が必要です。
なお、ダウンロード回数には制限がありますので、ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。手順については、本製品のオ画面で見るマニュアルをご覧ください。
- ●Windows Vista™環境でCPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合は、以下の環境を満たしている必要があります。
《グラフィックアクセラレータボード》
・PCI-Express接続
・COPPをサポートしていること
・最新のドライバがインストールされていること
・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載
《ディスプレイ》
・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

てっトリ早く DVDビデオを再生しよう

1 WinDVD(Windows Vista™の場合)または WinDVD 5 OEM(Windows Vista™以外の場合)を起動します。
▶Windows Vista™の場合 順にクリック
▶Windows Vista™以外の場合 [InterVideo WinDVD]アイコンを ダブルクリック

2 再生するDVDビデオを挿入します。
挿入すれば、自動的にDVDビデオの再生がスタートするよ。

こんな時には…
■Windows XPで左のようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生する場合は…
CPRM Packをダウンロードする必要があります。
ダウンロードおよびインストール手順については、本製品の画面で見るマニュアル内【DVDビデオを観る】をご覧ください。(添付のDVD ProツールズコレクションのCDメニューより[画面で見るマニュアルを読む]をクリックし、本DVDドライブの製品型番をクリックし起動します。)

困った時には… 添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください
それでもわからなかったら… インタービデオジャパン テクニカルサポート 045-226-3899
受付時間… 09:30〜12:00/13:30〜17:00 月〜金曜日(夏季・年末特定休業日、祝祭日を除く)

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

1 B's Recorder GOLD9 BASICを起動します。
[B's Recorder GOLD9]アイコンを ダブルクリック

2 表示されるメニューから[データCD/DVD]を選択します。 クリック

3 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。 ドラッグ&ドロップ

てっトリ早く（ヒント） デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

4 メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。 クリック

5 書き込みを開始します
❶[書き込みのみ]を 選択
❷[開始]を クリック

完成!

こんな時には…
■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入したら下記のようなメッセージが出た…
←DVD-RWの場合
●後でデータを追加して書き込む場合
[追記可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。
●書き込み後にデータを追加する予定がない場合
[互換性を重視し追記不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

困った時には… 添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください
それでもわからなかったら… ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター 06-4861-8234
受付時間…10:00〜12:00/13:00〜17:00 月〜金曜日(祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く)

てっトリ早く DVD-RAMに書き込もう

※ 2〜5の手順は初めてDVD-RAMメディアを使う際のみ必要です。
※DVD±RW、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

1 DVD-RAMメディアを本製品に挿入します。

2 マイコンピュータを開き、本製品のアイコンを右クリック→[B's CLiPフォーマット]をクリックします。
❶アイコンを 右クリック ❷[B's CLiPフォーマット]を クリック

3 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。
❶本製品を 選択 ❷[次へ]を クリック

4 [次へ]をクリックします。 クリック

5 必要に応じて[ボリュームラベル]、[UDFバージョン]を設定し、[完了]をクリックします。 クリック

6 [OK]をクリックします。 ⇒フォーマットが始まります。 クリック

7 フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。これでDVD-RAMへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。 クリック

てっトリ早く DVDビデオをつくろう

1 動画ファイルを準備します。
●TVキャプチャ ●VHSビデオテープ ●DVカメラetc.
※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

2 [DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]を起動します。
[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]アイコンを ダブルクリック

3 [ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。

4 [DVD]を選択し、[OK]をクリックします。

5 [メディアの追加]枠の中から[ビデオファイルの追加] をクリックします。 クリック

6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。
❶ファイルを 選択 ❷[開く]を クリック ❸サムネイルが追加されているか確認 ❹[次へ]を クリック

てっトリ早く（ヒント） デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネイルリストに動画ファイルを追加することもできます。 ドラッグ&ドロップ

7 この場面では必要に応じてメニュー画面の設定を変更することができます。 [次へ]を クリック

8 本製品にメディアを入れます。

9 [書き込み開始]をクリックします。 [書き込み開始]を クリック

完成!

メニュー画面の編集もかんたん!

- あらかじめ用意されているテンプレートやオリジナルのデザインを選びお好みのメニュー画面を作成できます。
- BGMやレイアウトなど、メニュー画面の編集をおこなうことができます。
- メニューからムービーへの画面切替効果（トランジション）を設定することができます。
- クリックでメニュー画面のタイトルを変更できます。
- クリックでシーンのタイトルを変更できます。
- クリックでプレビュー画面が表示され、動作チェックすることができます。

●詳しい使い方は[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]のヘルプをご参照ください。

困った時には… 添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください
それでもわからなかったら… ユーリードユーザーサポート係 045-226-1966
受付時間…10:00〜12:00/13:00〜17:00 月〜金曜日(祝祭日を除く)

画面で見るマニュアルを活用して さらに DVD を使いこなそう

本書では、各ソフトの基本的な使い方のみを記述しております。さらに高度な使用方法については、各ソフトの画面で見るマニュアルをご覧ください。

- **DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA の画面で見るマニュアルを活用する**
[スタート]メニューの[Ulead DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]に登録されます。
- **B's Recorder GOLD、B's CLiP のオンラインマニュアルを活用する**
[スタート]メニューの[B.H.A]または各ソフトウェアのヘルプに登録されます。
- **DVDドライブ本体、EasySaver LE、QuickDrive LE の画面で見るマニュアルを活用する**
[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。
- **WinDVD、WinDVD 5 OEM の画面で見るマニュアルを活用する**
[WinDVD]または[WinDVD 5 OEM]を起動し、ヘルプを起動します。

参考 添付のCD-ROMに収録されている、画面で見るマニュアルもご覧ください。
添付のCD-ROMに収録されている、画面で見るマニュアルにも情報があります。
❶「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMを本製品にセットします。
自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Menu]([Menu.exe])を起動してください。
❷[画面で見るマニュアルを読む]ボタンをクリックし、起動します。
クリック

困ったときには

DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA で困ったら…

1. ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
2. ホームページでサポート情報を見る。
http://www.ulead.co.jp/support/
それでも解決しなかったら
3. サポートに問い合わせる。

インタービデオジャパン株式会社 ユーリードユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間…10:00〜12:00/13:00〜17:00 月〜金曜日(祝祭日を除く)
※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※シリアルNo.はインストール時の表示か、各ソフトウェアを起動し【バージョン情報】等各ソフトウェアについてのオプションを参照してください。
http://www.ulead.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

B's Recorder GOLD9 BASIC や B's CLiP で困ったら…

1. ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
2. ホームページでサポート情報を見る。
http://help.bha.co.jp/
それでも解決しなかったら
3. サポートに問い合わせる。

株式会社ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター
TEL 06-4861-8234
受付時間…10:00〜12:00/13:00〜17:00 月〜金曜日(祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く)
※お問い合わせの際はビー・エイチ・エー社へのユーザー登録が必要です。
http://www.bha.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体 や EasySaver LE、QuickDrive LE で困ったら…

1. 添付のCD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルのQ&Aを確認する。
2. ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト http://www.iodata.jp/lib/
それでも解決しなかったら
3. サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
TEL[東京] 03-3254-1095
TEL[金沢] 076-260-3688
FAX[東京] 03-3254-9055
FAX[金沢] 076-260-3360
[受付時間] 09:00〜17:00 月〜金曜日(祝祭日を除く)
※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

InterVideo WinDVD や InterVideo WinDVD 5 で困ったら…

1. ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
2. ホームページでサポート情報を見る。
http://www.intervideo.co.jp/support/
それでも解決しなかったら
3. サポートに問い合わせる。

インタービデオジャパン株式会社 テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間… 09:30〜12:00/13:30〜17:00 月〜金曜日(夏季・年末特定休業日、祝祭日を除く)
http://www.intervideo.co.jp/support/
●E-Mail：techsupp@intervideo.co.jp

修理について

修理を依頼する前に 以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。 ※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。)

修理依頼手順

1. メモに控え、お手元に置いてください。
お送り頂く製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。
2. これらを用意してください。
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
・返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号] ・日中にご連絡できるお電話番号
・ご使用環境(機器構成、OSなど) ・故障状況(どうなったか)
3. 修理品を梱包してください。
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。
4. 修理をご依頼ください
■修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

使用上のご注意

著作権について
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品のライティングソフトウェアについて
■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
■書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
■DVD+RW/-RW、CD-RWメディアの消去(初期化)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
■「B's CLiP」はCPRMに対応しておりません。

地域コード(リージョンコード)について
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

Works with Windows Vista™ロゴについて
以下の環境にてロゴテストをおこなっております。
●CPU：Pentium D 930 ●メモリー：1Gバイト ●チップセット：945G

商標について
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft®、Windows®、Windows Vista™は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/